

大仙市アーカイブズ ニュースレター 第17号



大仙市マスコットキャラクター
まるびちゃん

秋田県公文書館・大仙市アーカイブズ 連携展開催中

秋田県公文書館の巡回展「おらだの記憶展」が大仙市アーカイブズで開催中です。秋田県公文書館の所蔵資料の中から、大仙市にちなんだ選りすぐりの資料が展示されています。

大仙市アーカイブズ新着資料展「佐藤弥助家文書」も同時開催しています。ぜひご覧ください。

秋田県公文書館開館30周年記念巡回展 おらだの記憶展 in 大仙市

今年開館30周年を迎えた秋田県公文書館。記念事業として、県内各地のアーカイブズ機関で巡回展を行っています。大仙市アーカイブズでの展示は、8月17日まで開催します。

期間中の8月5日（土）に展示資料と時代背景等について解説を行う「ギャラリー・トーク&学習会」を、夏休み期間中には、子ども向けの「自由研究学習シート」も実施します。



おらだの記憶展 in 大仙市

期間：6月27日（火）～8月17日（木）
会場：大仙市アーカイブズ展示室1

関連イベント その1

ギャラリー・トーク&学習会
8月5日（土） 10:00～ 13:30～

関連イベント その2

自由研究学習シートを完成させよう
夏休みの子ども向けイベント。
展示資料を見て自分で問題を解く
コーナーを設置します。
回答者全員に参加賞プレゼント!!

大仙市アーカイブズ新着資料展 佐藤弥助家文書

昨年度ご寄贈いただいた「佐藤弥助家文書」を紹介する新着資料展を開催しています。

西仙北地域の佐藤弥助家は、江戸時代には亀田藩江原田村の肝煎（＝村の代表）を務めた旧家で、領境争いや村同士の取り決めに関する証文や絵図が大切に保管されていました。また明治以降の地租改正図面、日露戦争の従軍兵士からの葉書などの近代資料も多く残されています。

これらの資料のなかから、今回の展示では、“領境（村境・国境）争い”にスポットをあてて関連資料を展示しています。



新着資料展「佐藤弥助家文書」

期間：6月13日（火）～8月26日（土）
会場：大仙市アーカイブズ展示室2

（展示紹介 次のページに続く）

佐藤弥助家文書の見どころ①

3領の領境だった 強首・大沢郷

江原田村を含む強首・大沢郷周辺は、江戸時代、変遷はありますが、およそ秋田（佐竹）領・亀田（岩城）領・矢島（生駒）領が入り組み、領主変更や領地交換などで、何度も国替えがあった地域です。

江原田村は、初めは秋田領でしたが、幕府領を経て亀田領となりました。江原田の隣村である木売沢村は、秋田→幕府→本多（正純）→幕府→矢島→秋田→亀田と、時の権力者の都合で、めまぐるしく国替えが行われています。

この時代背景をふまえると、佐藤弥助文書をより深く味わうことができます。



絵図(三領御境絵図)(年代不明)
秋田領、亀田領、矢島領の三領境や入会(=共同利用地)を書き入れた絵図。

旧由利郡との郡境と思われる箇所があり、上野秣場論争の際に大沢郷が主張した境塚の場所と考えられる。

佐藤弥助家文書の見どころ②

まるでバルカン半島？ 3領にまたがる採草地

大仙市アーカイブズの付近に「上野台」と呼ばれる高台があります。江戸時代、この高台に広がる林野は、生活に欠かせない薪や肥料を得るための場所で、江原田をはじめ強首・九升田・大沢郷などの複数の村が利用する採草地でした。

寛文12(1672)年、この採草地を巡って「上野秣場論争」と呼ばれる村同士の争いが起こります。

通常、村同士で折り合いがつかなければ、領主が裁定を下すこととなります。ところが、上野台には秋田・亀田・矢島の3領の村々に関わるため、村で起こった問題が、藩の争いとなり、幕府に解決を求める事態に発展しました。

バルカン半島に例えるのは大げさかもしれませんが、争いの火種にならざるをえない地勢や、デリケートな領境の実情を伺うことができます。



写(寛文12年)
大沢郷による幕府奉行所への訴えに対する、上野秣場論争についての幕府裁許状の写し。

いべんと瓦版 お申し込みはお電話で

アーカイブズ講座

江戸時代の領境と村々の暮らし

- 日時：7月14日(金) 午後1時30分～午後3時
- 場所：大仙市アーカイブズ 研修室

佐藤弥助家文書を通じて村々の実態を読み解く講座です

夏休み子ども講座

調べて書こう！私たちのまち 大仙タイムズ

- 日時：7月28日(金) 午後1時30分～午後3時
- 場所：はなび・アム 大研修室
- 対象：小学4年生から中学3年生まで(親子参加OK)



ホームページで、これまでの展示資料を紹介しています。
佐藤弥助家文書は9月にアップ予定です。
ぜひ御覧ください。

